

# NAKANISHI SAKI'S COLUMN

## 妻・中西紗希より、皆さまへ

いつも温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。  
 当時、30歳で初当選させていただいてから、来年で早15年になります。  
 徳島県や高知県、本当に沢山の皆さまにお力添えを賜り、心より感謝しております。

今、主人が国政で、大きなお役目をいただき仕事させて頂けるのも皆さまのお支えがあるからこそです。

私には分からない様々な難題に直面しながらも、主人は愚痴や不満は一切挟まず、  
 精一杯乗り越えようと努力を重ねている姿勢があります。  
 それらの原動力は、「子どもたちの日本や地域を良くしたい!」という想い一つなのかなと思います。

おかげさまで小学生1年になった娘は、お父さんが大好きで、  
 我が家の帰りを指折り数えて待っております。  
 帰ってくる日の朝は「今日、帰ってくるー♡」とニコニコ顔で登校しております。

皆さまとご縁を大切にしながら、志や初心を忘れることなく、  
 日本のため地域のために邁進していくかと存じますので、  
 これからも夫婦共々、温かいご支援をなにとぞ宜しくお願い致します。



▲主人が"亭主"を務めたお茶会にて、  
 家族で記念写真



## 中西祐介 プロフィール

YUSUKE NAKANISHI'S PROFILE

現在の役職 ○参議院予算委員会 筆頭理事

**学歴・職歴**

- ・阿南市立阿南中学校 卒業
- ・徳島県立富岡西高校 卒業
- ・慶應義塾大学法学部政治学科 卒業
- ・(株)UFJ銀行(現三菱UFJ銀行)
- ・(財)松下政経塾第28期生 卒業

**略歴**

- ・自民党 青年局長代理(2014年)
- ・第3次安倍改造内閣 財務大臣政務官(2015年)
- ・自民党 水産部会長(2016年)
- ・自民党 政務調査会 副会長(2017年)
- ・参議院憲法審査会 幹事(2018年)
- ・参議院財政金融委員会 委員長(2019年)
- ・参議院自民党 国会対策委員会 筆頭副委員長(2020年)
- ・第1次/第2次岸田内閣 総務副大臣(2021年)
- ・参議院自民党 政策審議会 筆頭副会長(2022年)

**選挙**

- ・2010年7月 参議院議員選挙(徳島選挙区) 142,763票 初当選
- ・2016年7月 参議院議員選挙(徳島・高知選挙区) 305,688票 二期目再選
- ・2022年7月 参議院議員選挙(徳島・高知選挙区) 287,609票 三期目再選



2010年7月 自民党が野党時代 史上最年少(31歳0ヶ月)で初当選。  
 2015年10月 憲政史上初の合区 2ヶ月で財務大臣 政務官に就任。  
 2016年7月 憲政史上初の合区 選挙(徳島・高知県) を制し、二期目再選。  
 2021年10月 史上最年少(42歳 3ヶ月)で総務副大臣 就任。  
 2022年7月 徳島・高知の全58市 町村で最多得票を勝ち取り、三期目再選。



■誕生日:1979年7月12日  
 ■出身地:徳島県阿南市  
 ■ポリシー:天命に生きる  
 ■特技:ライダー、料理、SUP

**中西祐介事務所**  
 \東京事務所 千100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館622号室 Tel.03-6550-0622 Fax.03-6551-0622 ☑yuusuke\_nakanishi01@sangiin.go.jp

**徳島事務所**  
 自由民主党徳島県参議院選挙区第二支部 千770-8056 徳島県徳島市問屋町31番地 Tel.088-655-8852 Fax.088-655-8853 ☑yuusuke-nakanishi@nifty.com

**高知事務所**  
 千780-0861 高知県高知市升形1-21自民会館 ☑kochi@yusuke-nakanishi.info

日々の活動や最新情報をお届けします  
 お問い合わせはHPもしくは事務所までご連絡ください。 <https://yusuke-nakanishi.info>  
 「中西祐介後援会」LINE公式アカウント 登録はこちら



“日に新た”に躍動する 徳島県・高知県 参議院議員 中西祐介 情報誌 / ジャーナルワイ / Create our new age and make each day a-new

## 参議院予算委員会筆頭理事として 駆け抜けた総審議 120時間超!

(R5.10~R6.5)

### 令和6年度 予算成立。 史上二番目の規模 112兆5717億円

**悪弊を絶ち、より良き政治を導くために**

徳島県・高知県の皆さま、平素より大変お世話になっております。  
 「政治の在り方」が真に問われる時代にあります。  
 野党時代に立候補した原点、世のため人のため、政治の悪弊を絶ちきり、地方衰退やエネルギー・食糧、外交安全保障問題に資する、真の独立国家としてのあるべき理想に邁進する覚悟で取り組んで参ります。

近年ない混乱した政治情勢の中、国民生活に直結する令和5年度補正予算、そして令和6年度本予算を、現場の全責任を預かる予算委員会筆頭理事の立場で、成立まで導くことが出来ました。

苦しく難しい局面もある世界、試行錯誤を重ねながらもすべてを成長の糧に変え、私は全力で、日本国の発展と皆さまの生活の向上の為に、これからも全力を尽くして参ります。

令和六年 夏 参議院議員 中西祐介



112兆  
5717億円

# 予算成立に向けて予算委員会筆頭理事の大奮闘!

## 【予算編成・成立までのプロセス】

※予算編成=国の歳入(収入)をもとに歳出(支出)を決定することで税金などの歳入をどの分野にどれだけ使うのか決定すること

**6-7月 各府省庁において概算要求に向けた準備**  
=政策や事業の継続または見直しの検討や立案など  
次年度に重きを置く施策の実施に必要な経費の見積作業

**8月下旬 概算要求** =各府省庁が予算を査定する財務省に対して次年度に必要な経費を要望すること

**9-12月 予算編成作業**  
=財務省にて予算案の査定  
財務省と各府省庁でヒアリング、調整

**12月下旬 政府案閣議決定**  
=内閣総理大臣と全閣僚の全会一致

**1月下旬 政府が国会に予算案を提出**  
=政府が1年間にどのような政策を実施していくのかを数字で表した“政府の計画書”

**筆頭理事の役割**

一言で表すと「総括」

- 委員会運営の取り回し
- 野党理事との交渉・協議等

▲質疑にて重要課題に切り込む



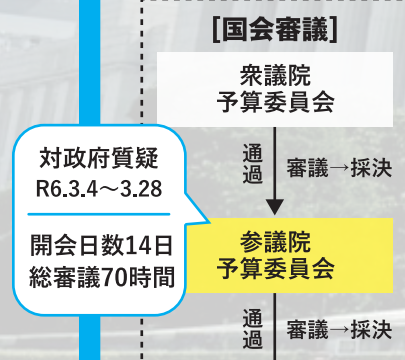
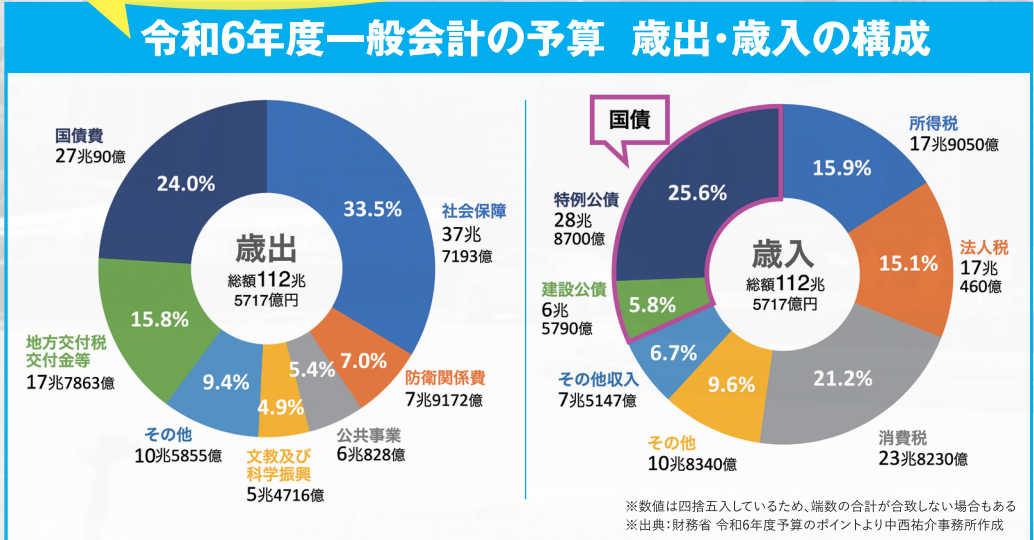
一年間通して  
様々な審議が行われるにあたり、  
予算委員会筆頭理事として  
審議の中核を担ってまいります。

**Total** <R5.10.31~R6.6.21>

●(参) 予算委員会 開会日数 (公聴会含む) **29日**

●総審議 約**123時間** (公聴会含む)

予備費を5,000億円増額!  
計1兆円能登半島地震被災地への財政措置



**3月下旬 予算成立**

**4月~ 予算の執行・施策の実施**

## 【参議院予算委員会の流れ】

**数日前** 筆頭間協議→委員会の大枠を協議  
**予算委員会理事懇談会**  
→委員会開会決定に向けた協議

**委員会当日**

**8:00** 国会議事堂へ登庁  
予算委員会打ち合わせに向けて朝一番で登庁。

**8:30** (参) 自民党 国会対策委員会※  
副委員長として予算委員会の状況について報告  
※国会における対応を検討・各所連絡を行う機関

**8:50** 予算委員会 理事会  
▲委員長+理事等11名で最終協議

**9:00** 予算委員会  
委員会における筆頭理事の役割  
○政府側の答弁に意見がある場合  
○質疑者の対応に意見がある場合  
↓  
委員会が中断  
↓  
その際 与野党筆頭理事間で協議  
↓  
場合により 中西筆頭理事から政府や質疑者に対して建言する

**17:00** 散会

▲総理に建言する中西筆頭理事

▲委員会室において与野党筆頭理事間で断続的に協議を行う

**理事会における筆頭理事の役割**

- 答弁を行う大臣等の確認
- 参考人の決定
- 次回の委員会日程決め
- 質疑者資料の確認
- 理事会協議案件についての協議等

↓

野党側の要求も踏まえ中西筆頭理事を中心に調整・協議を行う

**散会后 予算委員会 理事会再開**

▲理事会室の外で傍聴するマスコミ、注目の高さが窺える

**その後 マスコミ囲み取材**

▲与党を代表して理事会の内容等について取材を受ける

**19:00-** (参) 自民党 国会対策委員会にて報告翌日の予算委員会打ち合わせ

**本会議 賛成討論5つの要点 <R6.3.28>**

- 1 能登半島地震への対応
- 2 物価高に負けない賃上げ実現・経済の好循環
- 3 待たなしの少子化対策
- 4 あらゆる脅威から国土と国民、生活を守り抜く
- 5 食料安全保障にも積極的に取り組む

**● 予算委員会 豆知識 ●**

中西祐介 予算委員会 質疑の様子はこちらから

政府 与党委員 野党委員

委員部 野党筆頭理事

▲座席配置は決まっており、筆頭理事席は質疑者の最も近くに座り、委員会を円滑に進めております。(※写真に写る座席のみ解説をさせていただきます。)

**徳島・高知 要望活動**

※一部をご紹介します

- ▲各府省庁への要望活動  
南海トラフ事前防災対策や自治体DXなどの政策要望や特別交付税要望を行いました。各地域からいただく熱意あるご要望の実現に向けて、尚一層取り組んでまいります。
- ▲徳島小島島港「赤石地区」の岸壁延伸等の要望  
岸壁延伸等による機能強化について、財務省・国交省へ要望を行いました。  
→新規事業化が決定。(R6年度)
- ▲四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟  
“命の道”整備の重要性を噛み締めながら、防災力強化をはじめ、地域にとって重要度の高いインフラ整備に、皆様と共に全力を尽くします。  
→阿南芸芸自動車道の美波⇄牟岐間の計画段階評価を進めるための調査に着手。(R6年度)

**地元活動**

※一部をご紹介します

- ▲座談会「中西祐介を囲む会」(徳島)  
地域各所で開催頂き、皆様から多岐に渡るご意見を賜りました。皆様のお声をしっかり国政の場へ届けて参ります。
- ▲合区解消申し入れ(高知)  
(参)自民党関西議員会長・松山幹事長へ合区による投票率の低下などの実情を踏まえ、合区解消に向けて申し入れを行いました。
- ▲武見厚生労働大臣 時局講演会(徳島)  
2年連続で武見大臣をお招きし、今後の厚生行政についてご講演いただき、ご参加の皆様と有意義な意見交換会を行うことが出来ました。
- ▲防災夏まつり(高知)  
地域における防災・減災の意識向上や災害に対する備えの重要性について、住民の皆様と問題意識を共有する機会となりました。